（報告事項　　）

平成２７年１０月１３日

新佐賀放送会館の整備方針・概要について

新佐賀放送会館の移転整備については、平成２７年３月に「用地取得」の経営決定を受け、佐賀市より佐賀市松原１丁目５０番の用地を取得し、公共放送の役割を果たすための会館の機能や規模について、具体検討を重ねてきた。

このたび新会館主要機能や災害及び視聴者サービス、環境などへ対応するための整備概要がまとまったため、会館建設に向けて着手する。

整備方針および整備概要

１　基本コンセプト

（１）市民の交流拠点

新会館用地は佐賀市の中心市街地「中央大通り」の起点に位置し、佐賀県庁、佐嘉神社、百貨店佐賀玉屋、白山商店街など主要施設をつなぐ好立地にある。また、８月の佐賀城下栄の国まつりでは、パレードや花火大会のメイン会場前にもなる。

このような好条件を生かし、公開放送やパブリックビューイング、ギャラリーの開放などを実施してにぎわいを創出するとともに、市民の交流拠点としての役割を果たし、地域社会の期待に応える。

（２）災害に強い放送局

玄海原子力発電所を抱える佐賀県としては、地震や津波の影響も含む原発事故への緊急対応が求められる。また、海抜の低い佐賀平野は大雨や台風による浸水被害を受けやすい。

これらの災害に備え、あらゆる事態の下で放送局機能を維持し、安全・安心情報を的確に発信し続けることができる放送会館を建設する。

（３）風通しのよい“オール・ワンフロア”職場

現放送会館は、お客様対応が必須の営業部を除いて、局長、放送管理、放送部、技術部がすべてひとつのフロアに配置されており、スムーズな意思伝達が可能となっている。

新会館でもこの構造を引き継ぎ、さらにレイアウトを効率的に配置することで、放送局機能の強化と風通しのよい職場環境づくりを行う。

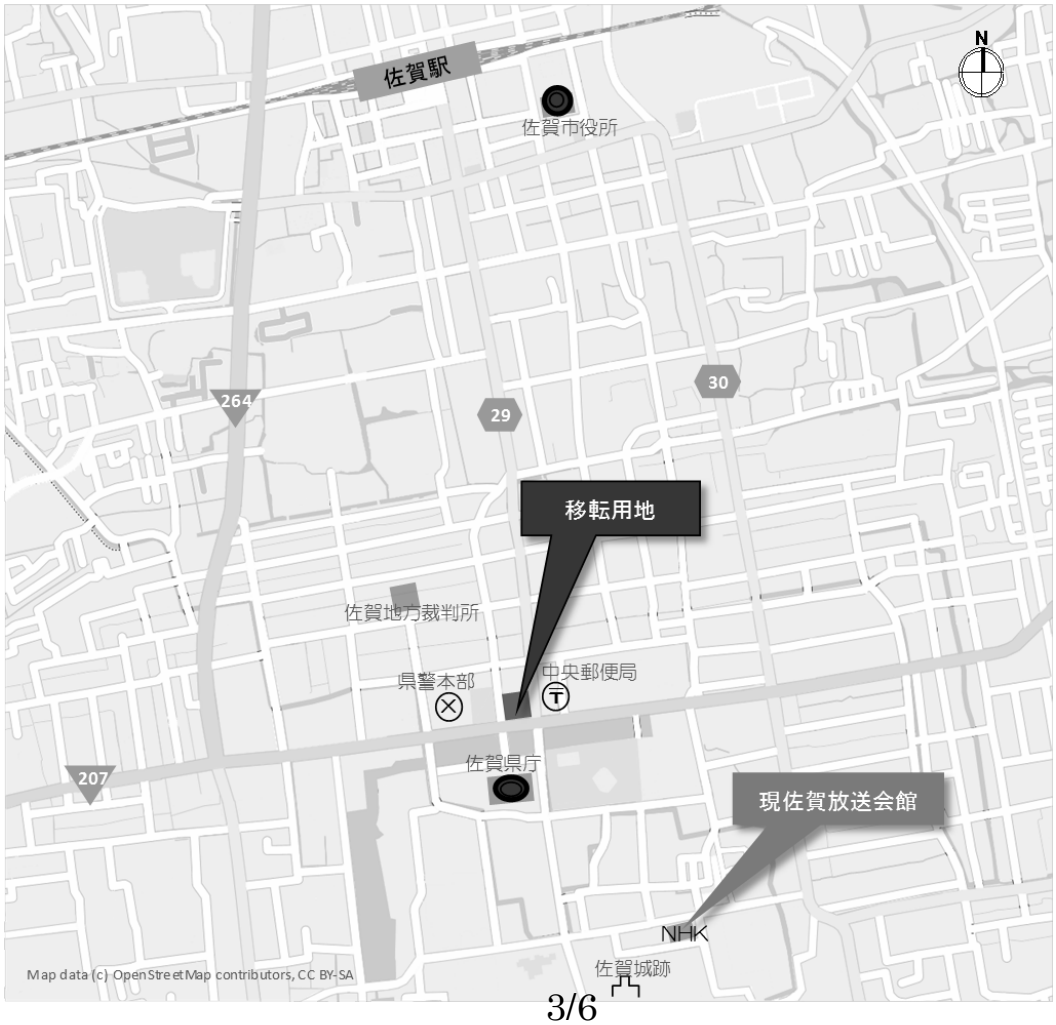
（４）周辺景観と調和する環境にやさしい会館

新会館用地は緑と水が豊かな佐賀城北堀に面し、市の「城下町周辺エリア」に位置付けられている。このような周囲の景観との調和を重んじ、環境に配慮した放送会館を建設する。

２　新会館の概要

区　分	新会館	現会館
(1)所在地	佐賀市松原１丁目５０番	佐賀市城内２丁目１５番８号
(2)敷地面積	３，７１５．０５㎡	３，１８８．４９㎡
(3)延床面積	５，１２０㎡	３，７７４㎡
(4)階　　数	地上３階程度	地上３階
(5)完成年度	平成３１年度	昭和４２年度
(6)建 設 費	建　　物：２８億円程度 （設計監理費、杭工事費、液状化対策費を除く） 放送設備：２１億円程度 （経常事項の更新経費を含む）	―
(7)用地取得費	約４．８億円（27 年 3 月 20 日取得）	売却予定
(8)建設方式	単独建設	単独建設

○　新会館移転用地位置図



３　会館の主要機能

（１）防災・機能強化

①　建物は免震構造を採用する。

②　浸水被害を回避するため電源設備を上階に設置すると共に、２系統受電、自家発用オイルタンク（１００時間運転可能)、車両用燃料備蓄設備（軽油１，０００リットル程度）の整備を行う。

（２）放送センター機能および制作機能

①　放送設備・放送センター機能とともに、局長室・放送管理事務室などの管理機能も２階に一元的に配置することで、スムーズな意思伝達を可能とする。

②　ニューススタジオ（１層・１００㎡）は放送センターに隣接した配置とし、定時ニュースやスポット番組などを制作する。

③　汎用スタジオ（２層吹抜け・１５０㎡）は１階ハートプラザおよび汎用スペースに隣接して配置し、情報番組や公開番組、選挙開票速報等に使用するほか、視聴者のスタジオ見学にも対応する。

（３）視聴者対応機能

ハートプラザ（２００㎡）は１階に配置し、８Ｋ対応の大型ディスプレイ、イベント・展示スペース、番組公開ライブラリー等を設置する。「市民の交流拠点」と位置付け、にぎわいの創出とともに、ＮＨＫへの親しみを感じてもらう場としての役割を果たす。

（４）鉄塔

放送会館と各放送所をつなぐ無線回線やデジタル中継放送所の構築をするため、地上高７０ｍ程度の鉄塔を設ける。

（５）その他

①　水害シミュレーションを行った結果、０．７ｍ未満の浸水が想定されるため、１階のフロアレベルを調整することで、水害時にも大きな影響を受けないように設計する。

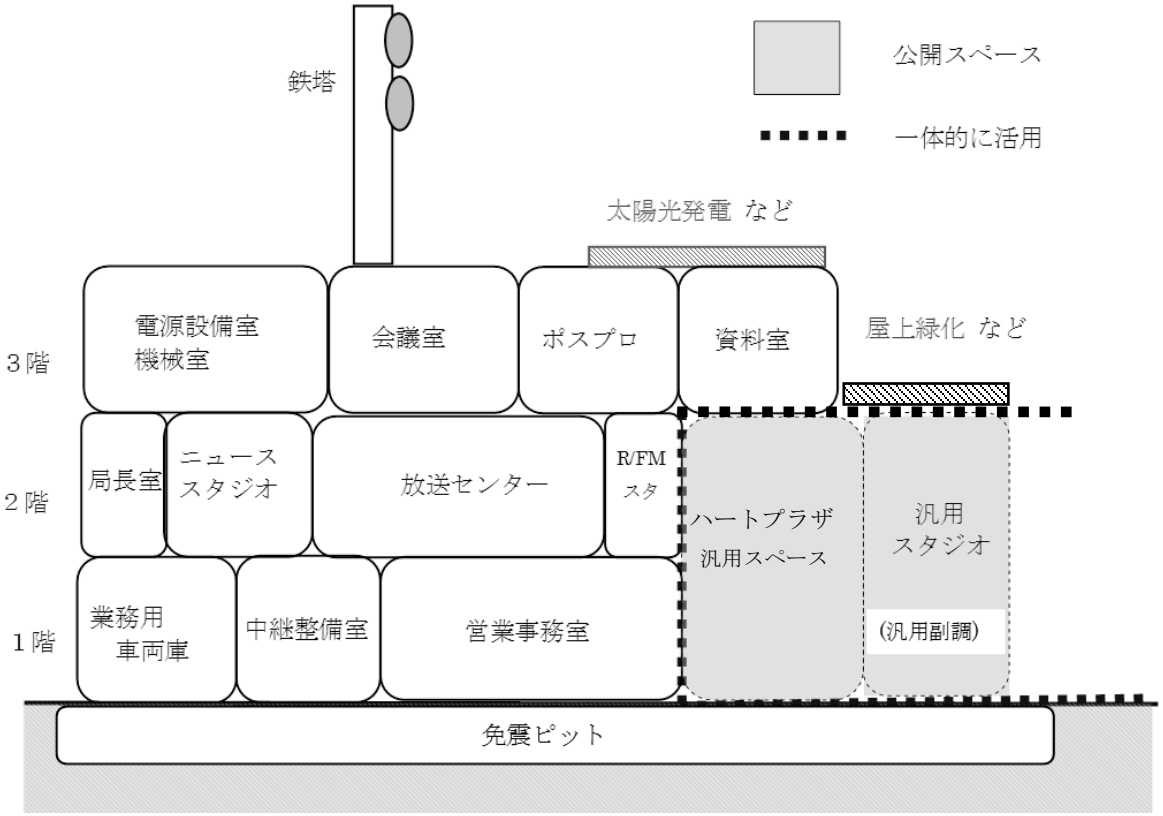
②　太陽光発電など自然エネルギーの活用や電力消費の少ないシステムを導入するなど、環境にやさしい会館を目指す。

４　主な機能と面積

（単位：㎡）

区　分	主な機能	面　積	現会館面積
放送機能室	・ ニューススタジオ ・ 汎用スタジオ ・ ラジオスタジオ、放送センター	２，０７０	１，７６６
視聴者公開スペース	・ ハートプラザ	２００	１０８
一般室	・ 局長室、営業事務室 ・ 放送管理事務室、会議室 ・ 業務用車両庫、倉庫	１，０５５	８５１
建築設備室	・ 電気関係室、空調機械室	７７０	４９９
共用スペース	・ 廊下、階段、トイレ	１，０２５	５５１
合　計		５，１２０	３，７７５

○ 階層別イメージ図



※断面ではなく階層別のイメージ

５　スケジュール（予 定）

<table>
<tr><td>平成２７年度</td><td>プロポーザルなどによる設計者選定

基本設計着手：各室レイアウトやデザイン、構造計算等</td></tr>
<tr><td>平成２８年度</td><td>実施設計着手：基本設計図に基づき詳細な仕様を図面化</td></tr>
<tr><td>平成２９年度</td><td>建物（着工）</td></tr>
<tr><td>平成３０年度</td><td>建物（完成）</td></tr>
<tr><td>平成３１年度</td><td>放送設備（完成）

運用開始</td></tr>
</table>

土工事
建物躯体、内装工事
電気設備・空調給排水設備工事
自家発・受配電設備工事
鉄塔工事、外構工事